

新年度予算案の審査より

3月定例会では新年度の予算について適正な審査が行われました。
委員会ではどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

公共交通対策事業

問 7,963万7千円の事業費の内訳は。

答 10月の実証運行が始まる地区路線3路線の委託料2,746万4千円。再編実施計画策定の支援業務567万円。バス路線維持費補助は知多バス運行の5路線で3,400万円。その他は1,250万3千円で、バス結節点の改修、連絡通路などの整備バス停120か所の製作委託費です。

問 再編実施計画策定することの補助があがるのとこのですが、どのような内容ですか。

答 国の認定を得ると、基幹路線に接続する地区路線への補助額の上限額が半田市の場合約450万円が約800万円まで上げていただけます。

新半田病院建設

問 新病院の開院が4年遅れることで、現病院の修繕費を今後どのように予算立てしていくのですか。

答 新病院建設に向けて控えていた修繕の見直しをして整理しました。修繕項目をすべて洗い出し、患者さんの医療の安全にかかる部分を最優先し、それ以外は壊れたら対処するという形で考えています。

問 平成37年5月開院とのことですが、工期の短縮についての考えはありますか。

答 いろいろな前倒しができることを検討して、最大限努力します。

問 環状線の早期開通が必須ですが、どのように考えていますか。

答 亀崎・乙川の方々のアクセスのため、環状線の早期開通は必須と考えています。武豊・阿久比・半田の議会や商工会などにも入って頂き、環状線の必要性について訴え、開通に向けて努力していきます。

問 新病院建設への国や県の補助金のメニューをどの程度開拓していくつもりですか。

答 補助はいろいろありますが、その獲得に向けて努力していきます、あらゆる方策を講じて様々な補助金を探し、アンテナを高くして国・県に

もお願いしていきます。

問 病院が移転した後の現病院を7年後、8年後に療養型の医療施設にするのであれば、順次直していく必要があるし、壊すのなら直さなくてもよいですが、そのことは計画的にできていますか。

答 当予算を作る段階では、現病院は取り壊しをする計画としています。

文教厚生委員会

成年後見利用促進事業

問 負担金の算定根拠を見直した理由及びどのくらい増額するのですか。

答 成年後見センターの利用実績から、費用負担の公平性を図るため見直しを行いました。増額は137万円です。

放課後児童健全育成事業

問 なぜ、保育料金の軽減を行いたいのですか。

答 公営で実施している他市町に比べ、利用料が高い傾向にあるからです。

問 様々な子育て支援施策が実施されているが、各担当・事業の連携が十分でないと思われませんか。

うか。

答 必要に応じて、プロジェクトチーム等横断的な組織を設けて子育て支援を総合的に考えていきます。

いじめ・不登校対策事業

問 スクールソーシャルワーカーの相談体制を増加させることによる効果をどの程度見込んでいますか。

答 児童・生徒が抱えている問題を学校だけでない他の社会支援へと繋げて行くことにより多くの案件が解決すると考えています。

